

価値情報の見せ方・伝え方

－ 商品の「広報デザイン」と「包装デザイン選択手法」に関する研究 －

赤田朝子、工藤洋司、舘山 大（弘前工業研究所）

要約

県内中小企業の「売れる商品作り」を支援するために、商品や企業の価値情報をターゲット層に効果的に伝達する方法について研究し、支援ツールを開発しました。

研究の概要

1. 背景・目的

「製品は作れるけれど売れない」との相談に対応し、小規模企業が顧客に向けて効果的に情報発信するためのノウハウの可視化に取り組みました。

2. 内容

- ① 商品の価値形成の礎となる情報を整理し、体系的な情報発信を行う為の支援ツール「広報整理シート」を開発しました（図1）。
- ② 商品の包装デザインに必要な情報を収集・整理・共有し、関係者が合意形成しながらデザイン案を評価・決定する手法を体系化してガイドブックを作成しました（図2）。
- ③ WEBサイト「青森産技マルシェ」を開設し、サイエンスコミュニケーションに立脚した情報発信方法を実践し、検証しました（図3）。
- ④ 商品開発から発表までの広報手順を Step by Step で紹介するガイドブック「はじめての商品発表会」を作成しました（図1）。

3. 活用

開発した手法は、ガイドブックの配布や技術相談等を通じて紹介し、県内事業者の「売れる商品づくり」に活用されています。



図1 広報整理シートとガイドブック

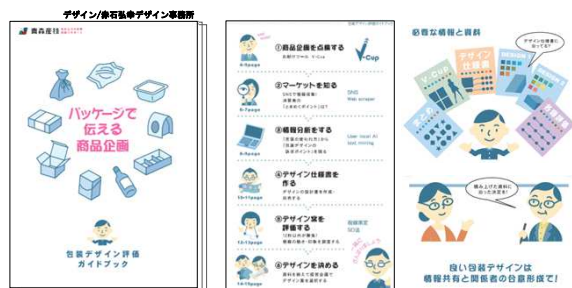


図2 包装デザイン選択の体系化



図3 青森産技マルシェ (web)

関連情報

- ・ 青森産技マルシェ (web) : https://www.aomori-itc.or.jp/marche/marche_top.html
- ・ 中小企業広報ガイドブック「はじめての商品発表会」（配布小冊子）
- ・ 包装デザイン評価ガイドブック「パッケージで伝える商品企画」（配布小冊子）
- ・ 広報整理シートの活用事例：3件（合同会社ゆきの木、医療福祉デザイン研究会）
- ・ 包装デザイン選択手法の活用事例：3件（株式会社小栗山農園、他）



弘前工業研究所 デザイン推進室
Tel 0172-55-6740 Fax 0172-55-6745
E-mail kou_hirosaki@aomori-itc.or.jp



青森産技

あおもりの未来
技術でサポート